

Partner5 の関係入力練習会の持ち物と事前準備のお願い

【当日の持ち物】

・パソコンと AC アダプタ

入力しやすいキーボードのパソコンをお勧めします。タブレットなどは、外付けのキーボードが必要です。

「IPtalk Partner」は多量のチェックやボタンがあります。マウスを持参することをお勧めします。

★会場で USB メモリーから最新の IPtalk をコピーできる事が必要です。

・イヤホン、または、ヘッドホン（Softtalk の合成音声を聞くため）

・テーブルタップ(電源タップ)

・LAN を使った連携入力練習をしたい場合は、HUB と LAN ケーブル

【事前準備】

このマニュアルに従って、以下をお願いします。

① 当日に持参するパソコンに Softtalk を事前にインストールしてイヤホンなどで合成音声を聞くことができることを確認してください。

②「練習リモコン」を使って、入力速度を計測して、結果をメールで送ってください。

練習問題の入力速度の参考にします。

③使用する IPtalk は、IPtalk9t70 ベータ版です。

練習会では、最新の IPtalk と Partner を USB メモリーで配布しています。

事前準備は以下の URL から IPtalk9t70_230314_Partner をダウンロードしてください。

http://www.s-kurita.net/download/outline_iptalk9t70_230314_Partner4.html

【お願い】

・万が一、Softtalk が練習文を読み上げない場合は、事前にメールしてください。

練習会当日に音声が再生できないと分かってても、不具合対応の時間は取れません。

必ず動作確認して来てください。

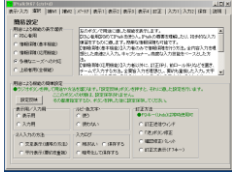
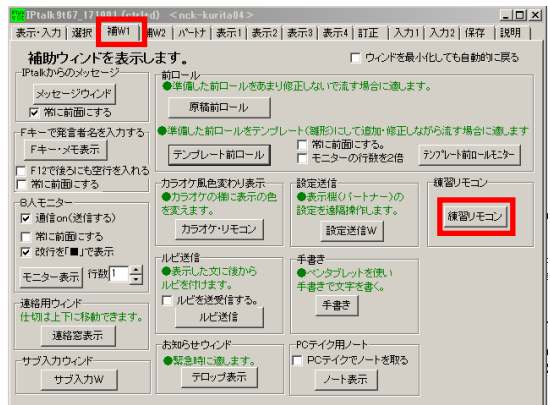
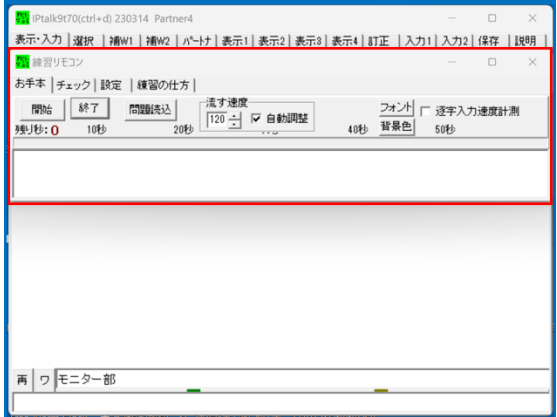
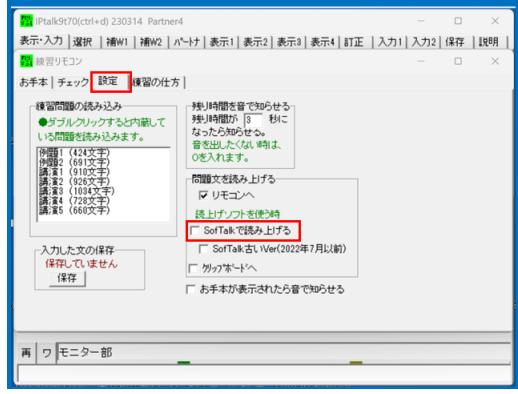
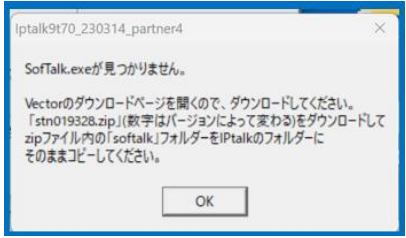
よろしくお願いします。

1)「SofTalk」を使う準備

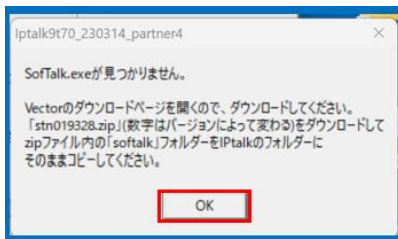
Sotalk は、ファイルをコピーするだけで使えます。

【注意】

・Windows7 では、「Microsoft .NET Framework4.0」を入れる必要がある場合があります。

No	操作	反応
1	<p>① IPtalk を起動します。 (起動時設定を読み込んで起動した場合は、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押してください。)</p> <p>②「選択」ページの「用途による機能の表示選択」で「上級者用」のラジオボタンを入れます。</p> <p>③「IPtalk からのメッセージ」ウィンドウは、「表示する」チェックを外して「×」で閉じておきます。</p>	<p>②ページが増えます。</p> 
2	<p>①「補 W1」ページの「練習リモコン」ボタンを押します。</p> 	<p>① 「練習リモコン」が開きます。</p> 
3	<p>①「練習リモコン」の「設定」ページを開きます。 「問題文を読み上げる」枠の「SofTalk で読み上げる」チェックを入れます。</p> 	<p>①初めてチェックを入れた時は、SofTalk が無いので、以下のようなメッセージが表示されます。</p> 

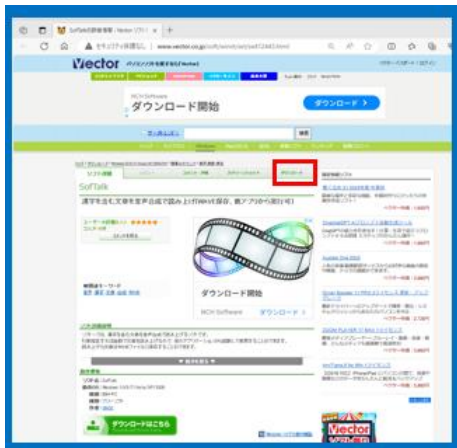
② 「OK」ボタンを押します。



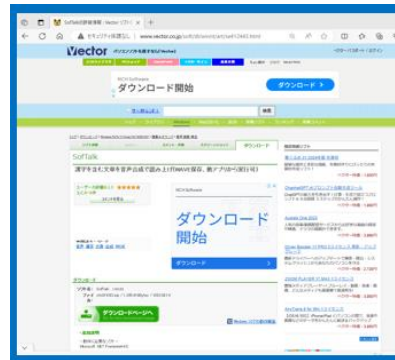
②ブラウザが起動して、「Vector」の「SoftTalk」のダウンロードページが開きます。



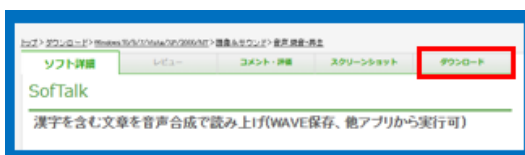
③ ベクターの HP の「ダウンロード」タグをクリックします。



② 「ダウンロード」タグが開きます。

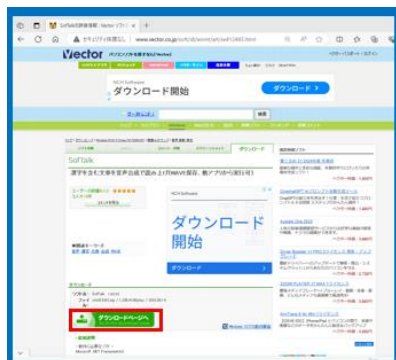


以下が「ダウンロード」タブです。



他のソフトの「ダウンロード」のボタンがあって紛らわしいので注意してください。

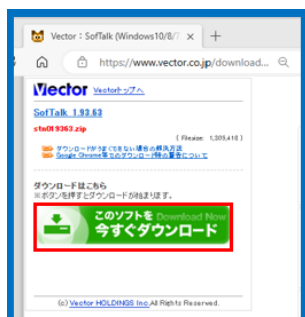
④ 下の方の「ダウンロードページへ」をクリックします。



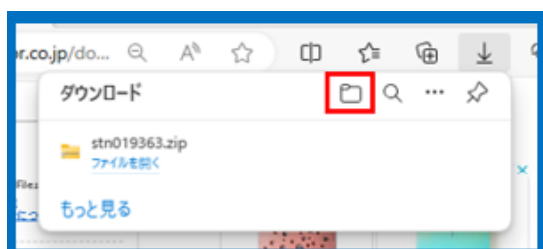
「ソフト名: Softtalk」を確認してください。



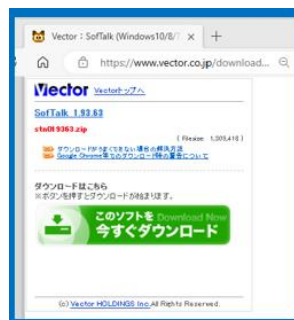
⑤ 「今すぐダウンロード」ボタンを押します。



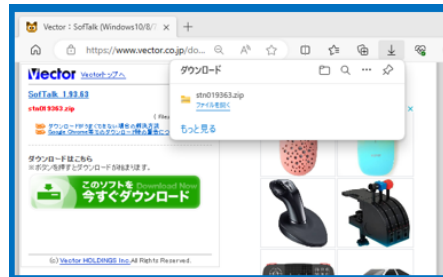
⑥ 「ダウンロード」ウィンドウの「フォルダー」アイコンをクリックします。



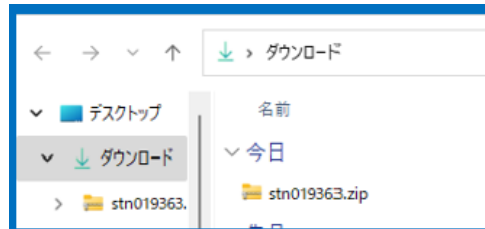
④「ダウンロード」ページが開きます。



⑤「ダウンロード」ウィンドウが開きます。



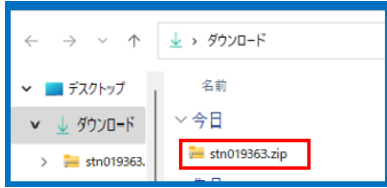
⑥エクスプローラで「ダウンロード」フォルダーが開きます。



「stn019363.zip」がダウンロードしたファイルです。
数字はバージョンによって変わります。

4 SofTalk を IPtalk のフォルダーにコピーします。

- ① ダウンロードフォルダーの「stn019363.zip」のフォルダーをダブルクリックして開きます。
(数字はバージョンによって変わります。)



- ②「sofTalk」のフォルダーをコピーして、IPtalk のフォルダーに貼り付けます。

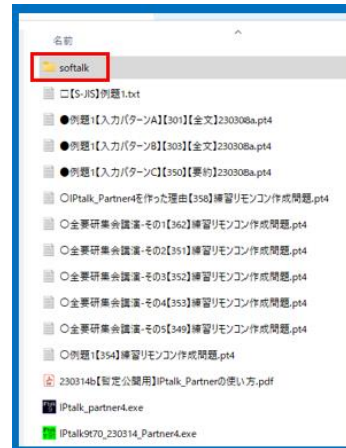
【注意】

コピーするのは、zip ファイルでなく、その中にはいる「sofTalk」ファイルであることに注意してください。

- ① 中に「sofTalk」というフォルダーが入っています。

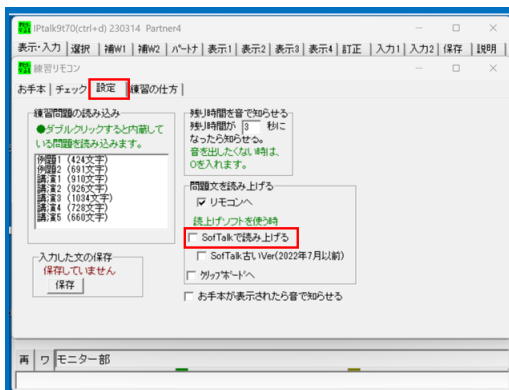


- ②IPtalk のフォルダーの中に「sofTalk」のフォルダーができます。

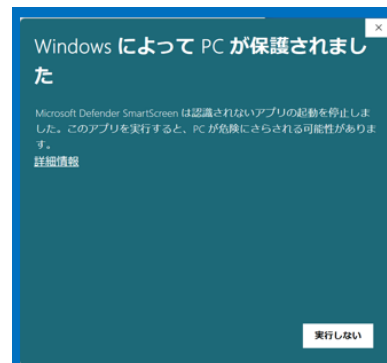


これでダウンロードは完了です。

- 5 ① もう一度、「練習リモコン」の「設定」ページの「問題文を読み上げる」枠の「SofTalk で読み上げる」チェックを入れます。



- ① Softalk が起動した時の警告が出ます。



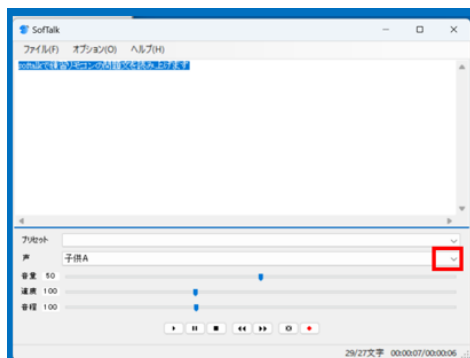
② 「詳細設定」を押します。



③ 「実行」ボタンを押します。



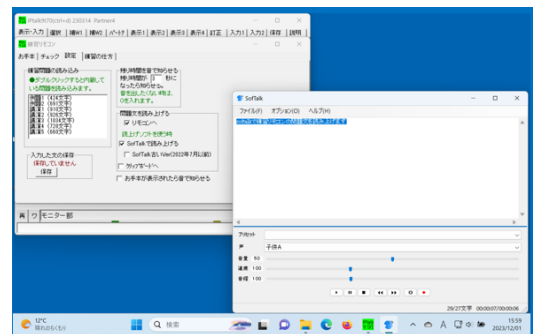
④ Softalk の運動の「声」のプルダウンで「Microsoft Haruka Desktop Japanese」を選択します。



② 「実行」ボタンが現れます。



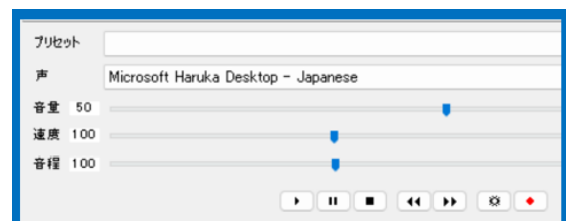
③ Softalk のウィンドウがデスクトップの右下に開いて、電子音ぽい音声で「softalk で練習リモコンの問題文を読み上げます」と発話します。



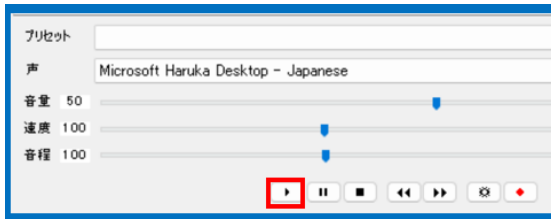
【注意】

複数のディスプレイを接続している場合、デスクトップに Softalk のウィンドウが現れない場合があります。この時は、タスクバーの Softalk のアイコンを右クリックして「ウィンドウを閉じる」を選択して Softalk を停止してから、外付けのディスプレイを全て外してから、もう一度「Softalk で読み上げるボタンを入れて下さい。」デスクトップに Softalk のウィンドウが一度現れれば、次からは外付けのディスプレイを接続していても大丈夫です。

④ 特に反応はありません。



⑤ 「▶」ボタンを押してテキストを読み上げて見ます。



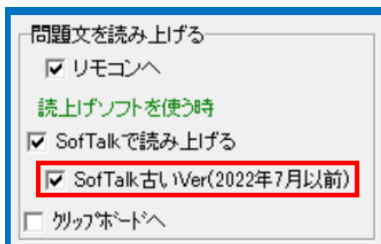
【注意】

旧型の Softalk(2022 年 7 月以前のバージョン)を使用する場合は「声」は「女性 01」を選択してください。

その場合は、以下の 2 つの設定をしてください。

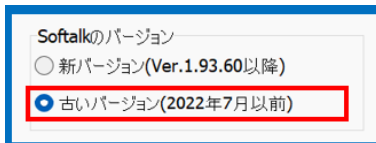
①「練習リモコン」ウィンドウの「設定」ページの「問題文を読み上げる」枠の「Softalk 古い ver(2022 年 7 月以前)」チェックを入れてください。

チェックは設定保存されます。



②「IPtalk_Partner4」ウィンドウの「設定」ページの「Softalk のバージョン」枠の「古いバージョン(2022 年 7 月以前)」ラジオボタンを入れてください。

ラジオボタンは設定保存されます。



⑤ 女性の声で「softalk で練習リモコンの問題文を読み上げます」とテキストを読み上げます。

これで Softalk の準備は完了です。

おわり

2) 練習リモコンの「逐次入力速度計測」と「Softalk」を使って入力速度を計測する

練習リモコンを使い、「Softalk」で問題文を読み上げて、入力速度を計測します。

問題文は規定値(デフォルト)で入っている「例題 1」にします。

練習をスタートすると問題文の 1 行目が「お手本」に表示され、Softalk が読み上げます。

「お手本」に表示される文と「入力部」の文が完全に一致すると、自動的に次の行を表示・読み上げします。

つまり、句読点も含めて、完全なコピータイプをしないと次の行に進まない事に注意してください。

「入力部」から「表示部」に流すには、通常通りに Enter が必要で自動的に表示には流れません。

問題が全部終わると、文字/分の入力速度が表示されます。

純粋なキー入力の速度を知りたいので、「F キーメモ」や、単語登録は使わず、例えば「パソコン要約筆記」は、「ばそこんようやくひっき」と入力して変換してください。

何度か練習して、最高点を教えてください。

以下が規定値(デフォルト)で入っている問題文です。

漢字にすべきところが「かな」のままになっているところがあるので注意してください。

「1分間」の「1」は全角数字です。他の「10 年」「150 から 200 文字」「100 文字」は半角数字です。

パソコン要約筆記が始まったのは、10 年くらい前です。

その当時は、入力の速さが注目され、全文入力为目标に頑張りました。

利用者も、全文入力してほしいと言っていたのです。

入力者は、利用者の期待をヒシヒシと感じていました。

少しゆっくり話してもらえば、全文入力できます。

それで、パソコン要約筆記は、全文入力できると思ったわけです。

初期のころは、入力の速い人ばかりで、1分間に 150 から 200 文字くらい打てました。

しばらくして、多くの人がパソコン要約筆記をするようになりました。

その人たちは、入力速度が毎分 100 文字くらいでしたが、全文入力をしました。

当然、話にはついていけません。

それでは、話の内容が抜けてしまいます。

そこで、パソコン要約筆記はダメだと言われ始めました。

入力者は、利用者からそう言われて驚きました。

そして、入力速度の不足が原因だと思ったのです。

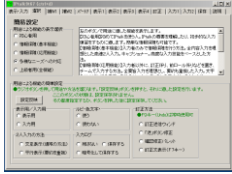
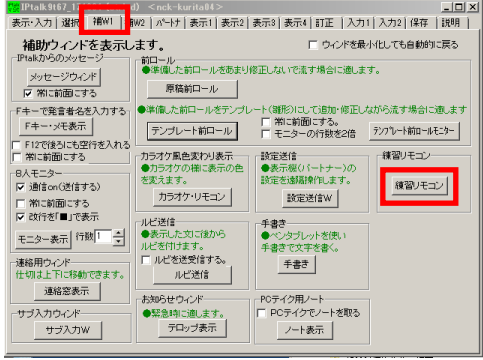
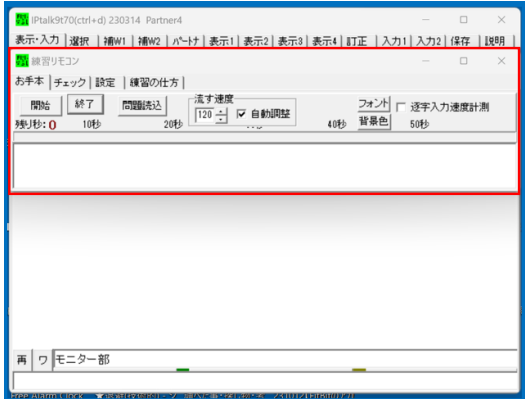

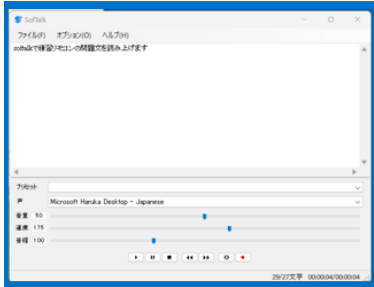
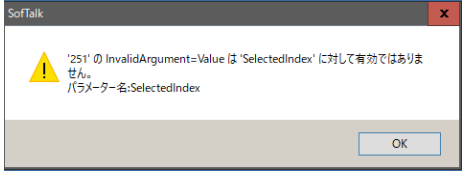
ところが、入力の速い人でも、全文入力していませんでした。

つまり、入力文は要約されていたのです。

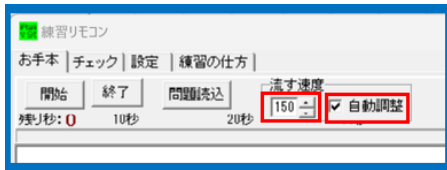
おわり

【注意】

「Softalk」のフォルダーが、起動する IPtalk のフォルダーに入っている必要があります。

No	操作	反応
1	<p>① IPtalk を起動します。 (起動時設定を読み込んで起動した場合は、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押してください。)</p> <p>② 「選択」ページの「用途による機能の表示選択」で「上級者用」のラジオボタンを入れます。</p>	<p>② ページが増えます。</p> 
2	<p>① 「補 Wi」ページの「練習リモコン」ボタンを押します。</p> 	<p>① 「練習リモコン」が開きます。</p> 
3	<p>① 「練習リモコン」の「設定」ページを開きます。</p> <p>② 「問題文を読み上げる」枠の「SoFTalk で読み上げる」チェックを入れます。</p> 	<p>② 「SoFTalk」が起動して「SoFTalk で練習文を読み上げます」と音声が出ます</p>  <p>【ヒント】 「このアプリケーションはインターネットに接続しようとしています。」と出た場合は、「許可」してください。</p> <p>【ヒント】 この時、エラーのウィンドウが出るがありますが、「OK」ボタンを押すと、正常に読み上げます。</p> 

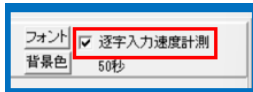
- 4 流す速度を、目標とする入力速度に設定します。
- ① 「お手本」ページの「流す速度」枠の数字を、目標とする入力速度(文字/分)に設定し、「自動調整」チェックを入れます。



【ヒント】

「自動調整」チェックを入れておくと、入力に余裕がある時は速度を速くし、間に合わない時は速度を遅くします。

- ② 「逐次入力速度計測」チェックを入れます。



- ① 特に反応はありません。

- ② 「IPtalk からのメッセージ」ウインドウに以下が示されます。

表示されたお手本を逐字入力した時の速度を計測します。

入力部の文とお手本が完全に一致すると次のお手本が表示されます。

句読点、半角全角も完全に一致する必要があります。

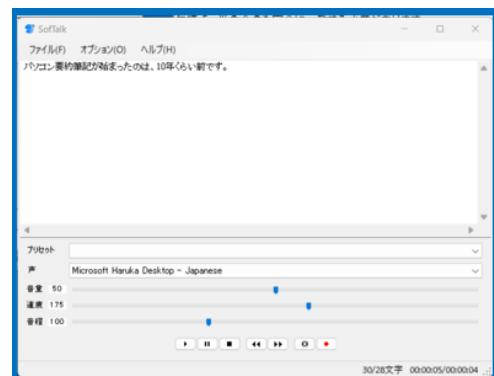
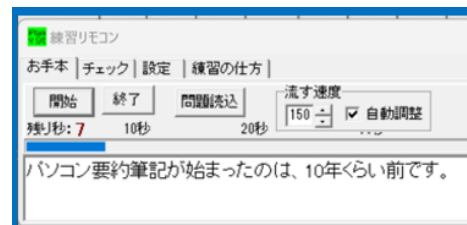
1 分以内に一致しないと、次のお手本を表示しません。

間違えて表示に流した場合は、F9 で取り戻してください。

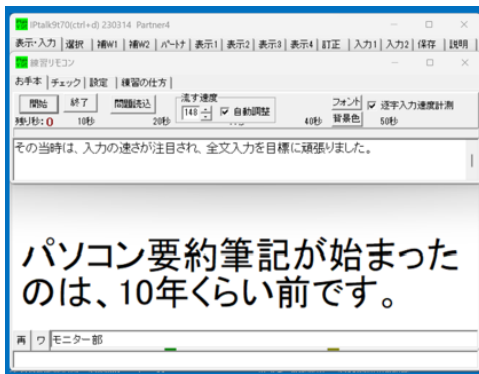
- 5 計測します。
- ① 「練習リモコン」の「お手本」ページの「開始」ボタンを押します。



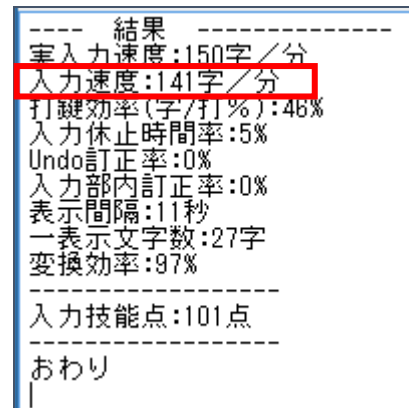
- ① カーソルが自動的に入力部に移動します。「パソコン要約筆記が始まったのは、10 年くらい前です。」と出て、SoftTalk が読み上げます。



②「お手本」通りに入力します。



② 終わると結果がでます。



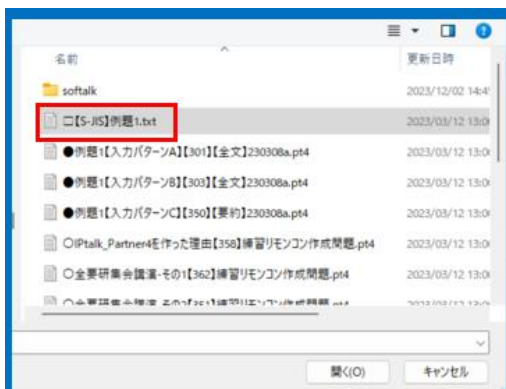
6 【ヒント】

メモ帳で作った練習問題を読み込むことができます。

① 「お手本」ページの「問題読み込み」ボタンを押します。



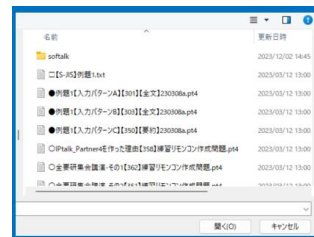
② テキストファイルを指定します。



③「開始」ボタンを押すと、練習問題がスタートします。

①「開く」ウィンドウが現れるので、読み込むファイルを指定します。

メモ帳で作ったテキストファイルを読むことができます。



② 特に反応はありません。

【注意】

拡張子が「PT4」は、IPtalk-Partner のファイルです。

8 おわり